

水戸済生会総合病院を受診・入院された患者様

当院は下記の研究を実施しています。この研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供することを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。なお、研究協力を拒否しても、診療等には一切影響しません。

研究課題名	ICU における早期離床リハビリテーションと多職種カンファレンスが患者アウトカムに与える影響
研究責任者	田中 美穂
研究の目的	本研究は、集中治療室(ICU)において早期離床リハビリテーションの実践と多職種カンファレンスの導入が、患者の機能回復、せん妄発生率、ICU 滞在日数に与える影響を明らかにすることを目的としています。研究成果は、ICU 看護および、チーム医療における看護師の役割強化と患者様中心のケアに向けた体制整備を促進することが期待されます。
調査データの該当期間	2021 年 6 月～2025 年 5 月
研究の方法(研究対象者)	ICU に入室した18歳以上の予定開心術を受けた、入室前の ADL が自立している患者様。 以下のいずれかに該当する患者様は対象外となります。 ・緊急手術、ICU 入室時に意識障害、脳血管障害の発症、術後再手術・再挿管例、術後 7 日以上の深鎮静管理、認知症・精神疾患の既往、術後死亡。
研究の方法(研究のデザイン)	後ろ向きコホート研究(他職種カンファレンス導入前後の2群を比較する準実験的研究デザイン)
研究の方法(使用する情報)	電子カルテを用いて離床開始日数、最大離床レベル、ICU 滞在日数、せん妄発生率、ADL 評価、合併症発生有無の項目を抽出。
個人情報の取り扱い	研究に使用する情報はすべて匿名化されます。研究成果は学会発表や論文発表の際にも個人が特定される情報は使用いたしません。研究に伴う個人の不利益は一切ありません。
利益相反	臨床研究における利益相反(COI:Conflict of Interest)とは、「主に経済的な利害関係によって公正かつ適正な判断に歪められてしまうこと、または、歪められているのではないかと疑われるかねない事態」ことを指します。具体的には、製薬会社や医療機器メーカーからの研究者へ提供される謝金や研究費、株式、サービス、知的所有権等がこれにあたります。 なお、本研究の利益相反については倫理委員会で審査され、適切に管理されています。
問い合わせ先	水戸済生会総合病院 〒311-4198 茨城県水戸市双葉台 3 丁目 3 番 10 TEL:029-254-5151(代) 研究責任者 ICU 田中 美穂

